

《課題名》

高齢者に対する胃切除術の安全性の検討

《対象者》

当院で 2011 年 1 月から 2026 年 3 月までに胃癌に対して、胃切除術を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「75 歳以上の高齢者に対する胃切除術の安全性の検討」という研究を行います。この研究は、当院で 2011 年 1 月から胃癌に対して胃切除術を受けた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示などによるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。また希望されれば、計画書等研究に関連する資料を個人情報保護と研究に支障がない範囲に限り閲覧することができます。

(1) 研究の概要について

研究課題名： 高齢者に対する胃切除術の安全性の検討

研究期間： 承認日～2030 年 7 月 31 日

実施責任者： 滋賀医科大学 消化器・一般外科学講座 講師 貝田 佐知子

(2) 研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

高齢化社会をむかえ、胃癌患者さんも高齢の方が増えています。高齢の方は、体力が低下しており、併存疾患(高血圧、心臓病など)を患っている割合が多く、若い方と比べると手術による重篤な合併症が発症する可能性が高いです。近年、腹腔鏡下手術が発展し、胃癌に対する胃切除術も腹腔鏡下およびロボット支援下で行っています。本研究では 75 歳以上の高齢の方に対する、胃切除術の安全性を検討します。

(3) 研究の方法について

《研究の方法》

- ・ 既存資料を用いた観察研究。当院で 2011 年 1 月から治療をおこなった患者さんの中で、胃癌に対し胃切除術を受けた方の術前の全身状態、術後合併症を評価します。また、電子カルテより患者さんの年齢、性別、身長、体重、併存疾患、手術方法、手術時間、出血量、術後合併症といった情報を利用します。

(4) 予測される結果(利益・不利益)について

参加頂いた場合の利益・不利益はありません。

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人情報を直接同定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用(又は他の研究への提供を)停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 消化器・一般外科学講座 貝田 佐知子

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2238

メールアドレス： hqsurge1@belle.shiga-med.ac.jp